

事務事業名		道路改良事業(単独)				☒ 実施計画掲載事業		☐ 合併建設計画掲載事業						
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目						
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目	事業		
	基本事業名	生活道路の整備						01	08	02	03	00		
根拠法令						☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 不明 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成22 年度 ～ 平成25 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入								
所 属	部課名	都市整備部建設課												
	課長名	西山 春仁												
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111										
	担当者	坂本 正	内線	316										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本事業は、平成22年に発生した豪雨時の排水不良箇所(3箇所)について、市道の部分改良を行うものである。 平成22年度に工事発注を行ったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により平成23年度に繰越しとなり、その後の請負者との協議により工事施工を打ち切りとした。平成24年度に残工事を発注したが繰越しとなり、平成25年度に完了した。 事業費は、工事費として支払われる。										全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
										総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
													都道府県支出金	
													地方債	11,400
													その他	
													一般財源	970
													事業費計(A)	12,370
										人件費	正規職員従事人数	2		
												延べ業務時間	396	
												人件費計(B)	1,584	
												トータルコスト(A)+(B)	13,954	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

工事施工:3箇所(市道蛸ノ浦合足線2箇所、市道沼川大森線1箇所)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

事業完了のため無し

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

排水不良箇所

(排水不良箇所の)利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

(排水不良箇所を)改良する

(利用者に)安全に通行してもらう

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全で快適に利用できる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 改良済箇所	箇所
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 改良計画箇所	箇所
キ 利用者数(赤崎町字長崎及び外口、日頃市町字大森の住民)	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 改良され安全に通行できる箇所数	箇所
シ 整備率(改良済箇所/改良計画箇所)	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円	2,000	4,100	5,300			
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	209	400	361			
		事業費計(A)	千 円	2,209	4,500	5,661	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
		延べ業務時間	時 間	132	132	132			
		人件費計(B)	千 円	528	528	528	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	2,737	5,028	6,189	0	0	0
⑤活動指標	ア	箇所		0	0	3			
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	箇所		3	3	3			
	キ	人		437	427	419			
	ク								
⑦成果指標	サ	箇所		0	0	3			
	シ	%		0	0	100			
	ス								

事務事業ID	1555	事務事業名	道路改良事業(単独)
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成22年に発生した豪雨時に排水不良箇所(3箇所)が確認されたことから、同年度(平成22年度)から事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
地域から早急な対応を求められているため、事業開始時から協力的である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 改良により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の道路改良は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ この事業により、利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 排水不良箇所の改良が目的なので、これ以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 安全で快適に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 公共施設であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1555	事務事業名	道路改良事業(単独)
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	良好な事業実施がなされた。																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業完了のため廃止。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長 西山 春 仁

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		適切な事務執行が行なわれている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業完了のため廃止。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
